



理念	現場運営	知識	合計
/16	/16	/68	/100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

《法人理念に関する問題》

1. ケアマキスの求める職員像「問題点を見つけ出し、解決策を提案できる人」に基づき、下記の事例を読んで問題に答えなさい。

〈事例〉

牧須 次郎様 85 歳 介護度 3 認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ

立位：何かつかまるものがあれば自立。

移動：歩行も最近は筋力低下が顕著にみられる。

排泄：何かつかまるものがあれば自立。

認知：危険認知や理解力、判断力が低下している。

〈事故の経緯〉

あなたは特養の介護リーダーです。あなたが担当するフロアで先日、牧須様が夜間にトイレに行こうとして居室内で転倒することがありました。幸い大きな怪我はありませんでしたが、牧須様の下肢筋力低下と転倒リスクが高まっていることについて、あなたを含めフロアのスタッフと話をしていた矢先の転倒事故でした。

- (1) 今回の転倒事故では牧須様の身体状況の変化には気づいていましたが、改善策をこうじていなかったために事故発生に至りました。なぜスタッフは牧須様の身体状況の変化に気づいていたにも関わらず、改善策を提案できなかったのでしょうか。考えられる要素を 1 つ答えなさい。(配点 2×1)

解答例

- ・誰かが改善してくれるであろうと他人任せになっていたのではないか。
- ・一人では改善策が思い浮かばず、アクションを起こせなかったのではないか。
- ・上司やケアマネに相談したいが、職場環境が相談しにくい環境だったのではないか。 等

- (2) 牧須様の身体状況に伴い、ケアカンファレンスが実施されることになりました。あなたは牧須様のカンファレンス出席にあたりどのような解決策を提案しますか。「転倒の未然防止策」の観点から具体的に 2 つ答えなさい。(配点 2×2)

①

②

解答例

- ・居室のレイアウトを伝い歩きできるように変更する。
- ・つかまって歩けるように家具を配置する。
- ・ベッドサイドにポータブルトイレを配置する。
- ・杖等の福祉用具の検討。
- ・ベッドサイドにセンサーマットを設置する。 等

- (3) カンファレンス実施にあたり、ともに出席する入社半年の後輩スタッフから牧須様の対応について相談を受けました。内容は「牧須様が転倒ないようにベッドの柵をすべて設置し、柵も抜けないように固定してはどうかと提案してみようと思っています」とのことでした。あなたはこの後輩にどのような指導を行いますか。身体的/精神的/社会的な観点を踏まえて各 1 つずつ答えなさい。(配点 2×3)



■ 身体的観点

解答例

身体拘束を行うことで関節拘縮/筋力低下/自立度低下/違う事故リスクの発生（ベッド柵を乗り越え転倒）など身体的弊害を踏まえた指導が行えていれば可

■ 精神的観点

身体拘束を行うことで精神的苦痛/認知症の進行/不安/怒り/屈辱など精神的弊害を踏まえた指導が行えていれば可

■ 社会的観点

身体拘束を行うことで介護施設に対する社会的不信、偏見/機能低下がさらなる医療を必要と経済的負担が重くなるなど社会的弊害を踏まえた指導が行えていれば可

2. ケアマキスの求める職員像「ご入居者様をはじめ、関わる人すべてに敬意をもって接することができる人」に基づき、下記の事例を読んで問題に答えなさい。

あなたは特養のユニットリーダーです。既存スタッフの大量離職による人員補充のため3ヶ月前に他フロアから異動してきたAさん（入職4年目・ケアマイスターシルバー合格者）は入居者に対し、決してやさしいとは言えない態度や言葉遣いで業務を行っています。最近では遅刻もみられるようになりました。前フロアのユニットリーダーに聞いたところ、「そんなことはなかった」との業務態度の変化に驚いている様子です。

- (1) Aさんはもともと誰に対しても穏やかで人が好感を持てる言葉遣いや雰囲気づくりができるスタッフでした。ユニットの移動となったことがAさんの働き方を変えてしまった可能性があります。そこでAさんの勤務態度が変わった原因と考えられることを1つ答えなさい。（配点2×1）

解答例

- ・ユニットの雰囲気が緩く、他スタッフ誰もが好感をもてるような言葉遣いや雰囲気づくりが行えておらず、Aさんもその状況にのまれてしまっているのではないかと
- ・ルーティンワークを覚えることで必死になり、接遇に気を付ける余裕がなくなった
- ・前フロアではベテランの立場であったのに、新人扱いされることが許せなかった。
- ・ユニットリーダーとのコミュニケーションがうまく取れず、閉塞感を感じている。
- ・フロア独自のルールが存在し、そのルールに納得できなかった。等

- (2) Aさんが以前のように誰からも好感を持たれる言葉遣いや雰囲気づくりができるスタッフに戻るためには、どのような取り組みを行う必要があると考えられますか。あなたが(1)で考えた原因に対しての取り組みを1つ答えなさい。（配点2×1）

解答例

・ユニットの雰囲気が緩く、他スタッフ誰もが好感をもてるような言葉遣いや雰囲気づくりが行えておらず、Aさんもその状況にのまれてしまっているのではないかと
→ユニット内の言葉遣いや雰囲気を見直し、規律がもてる環境にする

・ルーティンワークを覚えることで必死になり、接遇に気を付ける余裕がなくなった
→現在の業務内容を見直し、自分自身が指示を出しながら余裕ある介護ができる環境を作る

・前フロアではベテランの立場であったのに、新人扱いされることが許せなかった。
→Aさんにどのような指導をおこなっていたのか担当者に確認し、指導内容に誤りがあれば伝える。

・ULとのコミュニケーションがうまく取れず、閉塞感を感じている。
→早急に面談の日程を調整し、その後定期的に面談を行うことでAさんの方向性を導いてあげる。

・フロア独自のルールが存在し、そのルールに納得できなかった。
→他ユニットとの違いを確認し、そのルールが必要なのか不要なのか精査した後にAさんに伝える。等



「現場運営に関する問題」

1. 日本はマグニチュード 5 以上の大地震が発生しやすい地震大国であり、ひとたび地震が発生すれば、高齢者が利用する介護施設は大きな被害を受けます。実際に東日本大震災では岩手県・宮城県・福島県で少なくとも 59 か所の介護施設が被災し、ご入居者様と職員合計で 578 人の方が死亡または行方不明となりました。また、阪神淡路大震災では死亡者のうち 65 歳以上高齢者が 50%以上を占めるなど、2 つの大災害からも高齢者が地震による被害を受けやすいことがわかります。メディアで南海トラフ地震の危険性が度々取り上げられるなか、令和 3 年度介護報酬改定においては介護事業者には BCP（事業継続計画）の策定が義務付けられました。

- (1) 地震や災害はいつ起こるか分からないものであり介護従事者は他の事業以上に入念な地震対策を行わねばなりません。地震発生時の避難を迅速に行い、二次災害を抑えるため、建物や設備に関して日頃から定期点検が必要な項目を具体的に 2 つ答えなさい。（配点 2×2）

解答例

- ・非常口や階段など定められた避難経路に物を置かない。
- ・地震火災発生に備え、消火栓付近に物を置かない。
- ・棚や机などの上に、物を山積みしていないか。
- ・背の高い棚や転倒の可能性がある家具はしっかり固定されているか。
- ・非常口や防火扉の開閉がスムーズに行えるか。

- (2) 下記はある施設の地震発生時のマニュアルを一部抜粋した項目です。

A：地震発生直後の対応

【手順】

- 1 利用者への告知
 - 介助が必要な方は、スタッフが防護援助を行う 例：車椅子のブレーキをかける、歩行中の方の転倒防止など
- 2 利用者の安全確保 以下のポイントを押さえ、できる限り安全確保のための誘導を行う
 - 転倒しやすい什器、及び落下する恐れのある天井照明から離れる
 - ガラス窓、背の高い棚などから離れる
 - 施設内の柱などの付近へ避難する

B：地震の揺れが収まった後の対応

【手順】

- 1 被害状況に応じた必要な連絡と対応を行う
 - セキュリティー会社、メンテナンス管理会社、防災センター、消防、警察
 - 火災が発生している場合は初期消火を行う
 - 建物倒壊など、状況により避難が必要と判断された場合は、定められた方法により避難誘導を行う
 - 海沿いの施設については、津波の危険がある場合には屋上もしくは 3 階以上のフロアへ避難する
- 2 被害状況の確認、安否の確認、負傷者の対応、原状の復帰
 - 利用者様及び従業員の安否確認、負傷者確認（応急手当、救急車要請など）
 - 地震による被害の状況を管理者等へ報告

あなたは地震発生時のマニュアル作成の担当をすることになりました。上記「A：地震発生直後の対応」と「B：地震の揺れが収まった後の対応」において、マニュアルに追加する必要がある事柄を考え、A と B それぞれに 1 つ答えなさい。（配点 2×2）

A：地震発生直後の対応



B：地震の揺れが収まったあとの対応

解答例

A：二次災害の防止のため、火気の使用をすみやかに中止する。

A：身体の防護を呼びかけ、パニックによる混乱の防止を図る。

A：館内放送等を使用しお客様に状況確認の発信を行う。

A：避難経路を確保する。

A：エレベーター内に人が閉じ込められていないか確認する。

B：TV やスマホを使用し地震の情報を収集する。

B：二次災害（倒壊など）防止のための事業所内設備などの点検。

B：マニュアルに沿って応援体制の連絡を行う。

B：エレベーター使用中止の発信。

B：備蓄品をまとめる。

他 ケアマキス様が必要と思われる項目が記入できていれば OK です。

2. 次の表はAデイサービスの3ヶ月の実績です。下記の表をもとに以下の問題に答えなさい。(8)

月		10月		11月		12月	
総利用人数		(①)		1,354		1,464	
日数	平日平均	21	49.0	22	48.1	22	49.5
日数	土曜平均	5	43.4	4	41.0	5	44.2
日数	日曜平均	5	38.2	4	32.5	4	38.5
新規獲得数		4		1		2	
実人数		135		130		133	

(1) 上の表の①の数字を埋めなさい。(配点 2)

$$49.0 \times 21 = 1,029 \quad 43.4 \times 5 = 217 \quad 38.2 \times 5 = 191$$

$$1,029 + 217 + 191 = 1,437$$

A. 1,437

(2) Aデイサービスは12月の総利用人数の目標を1,500人に設定しています。土曜平均・日曜平均がこのままの場合、平日平均を何名まで上げれば1,500名に到達するか答えなさい。※小数点以下第2位を切り上げ (配点 2)

$$38.5 \times 4 = 154 \quad 44.2 \times 5 = 221 \quad 1,500 - 221 - 154 = 1,125$$

$$1,125 \div 22 = 51.13 \dots$$

A. 51.2

(3) 12月1,500名の目標を達成するために、現在利用しているお客様の利用回数増を提案することにしました。(例えば、2回/週利用 ⇒ 3回/週利用) 回数増を図るうえで確認すべきことを答えなさい。(配点 2)

・お客様の残単位数

・利用日以外の他事業所サービス利用状況

(4) お客様・家族に利用回数増を提案するにあたって、利用を増やすメリットを感じてもらえる内容を考えなさい。(配点 2)

※採点ポイント：単なるデイサービスの売りだけでなく、回数増する事で得られる効果を説明できているか

・お客様の身体状況を踏まえて目標を設定し、利用回数増により更なる機能向上が見込めるリハビリ内容の構築

・毎日日替わりのイベント、レクリエーションを設けて、参加したいと思える内容を数多く設定する

・在宅生活においての課題を再検討し、利用回数増により在宅生活継続の可能性が向上するためのプログラム



「知識問題」

1. 下記の説明に当てはまる疾患名を答えなさい。（配点 1×5） 発達と老化の理解

①	全身の関節に炎症を起こし、進行すると骨や軟骨が破壊され、関節に変形が起こる疾患。膝、股関節、指の第二関節などに起こりやすい。女性に多い。	関節リウマチ △リウマチ
②	眼圧上昇などにより、視神経が障害され、視野が狭くなる。自覚症状がないことが多い。	緑内障 △症
③	全身の筋肉が萎縮し、言語障害、嚥下障害による誤嚥性肺炎、歩行障害、呼吸困難などが出現する。症状は進行性であり、数年で四肢麻痺、摂食機能障害、呼吸麻痺になる。人口呼吸装置を使用する事で、呼吸を確保する。	筋萎縮性側索硬化症（ALS）
④	ドーパミンの不足により、振戦、無動、筋強剛、姿勢保持反射障害（前かがみの姿勢、小刻み歩行、突進現象、すくみ足など）の運動症状を呈する疾患である。発症年齢のピークは 50 歳代後半から 60 歳代である。	パーキンソン病 △パーキンソン
⑤	ヒゼンダニが皮膚表面に寄生して起こる伝染性疾患。通常型と角化型がある。角化型では集団感染の危険性があり、個室管理が必要となる。	疥癬

2.介護保険制度について、正しいものに○をつけなさい。（配点 1×5） 社会の理解

- ① 介護老人福祉施設に配置が義務づけられている専門職は（ サービス提供責任者 ・ 介護支援専門員 ・ 福祉用具専門相談員 ） である。
- ② 要介護者・要支援者が住み慣れた地域での生活を続けられるよう、提供されるサービスを（ 地域密着型サービス ・ 共生型サービス ・ 地域包括ケアシステム ） という。小規模多機能型居宅介護やグループホーム等がある。
- ③ 介護保険法の保険者は（ 国民健康保険団体連合 ・ 厚生労働省 ・ 市町村及び特別区 ） であり、保険給付に関する事務を行う。
- ④ 介護予防・日常生活支援総合事業に含まれる事業は（ 家族介護支援事業 ・ 権利擁護事業 ・ 第 1 号訪問事業 ） である。
- ⑤ 介護保険制度における訪問介護（ホームヘルプサービス）に含まれるものとして（ 庭の草むしり ・ 通帳と印鑑の預かり ・ 生活等に関する相談・助言 ） があ

3. 次の事例を読んで、問題に答えなさい。（4） 複合問題

【事例】

A さん（85 歳、女性）は、10 年前に①人工肛門（ストーマ）を造設し、2 年前に脳出血を患って軽い右片麻痺が残った。最近、物忘れが目立つようになり、主治医からは②軽度認知症と診断された。長女と同居しているが、仕事が忙しく日中はほとんど留守であり、別居の長男は仕事で海外に赴任中である。

（1）A さんに関する情報のうち ICF（国際生活機能分類）の環境因子に該当するものとして、適切なものを 2 つ選びなさい。（配点 1×2）

- ① 長男が海外に赴任中である。
- ② 軽い右片麻痺が残り、物忘れが目立ってきた。
- ③ 10 年前に人工肛門（ストーマ）を造設した。
- ④ 長女の仕事が忙しくなった。
- ⑤ 85 歳の女性である。

①	④
---	---

（2）下線①の人工肛門を造設する病気を 1 つ答えなさい。（配点 1）

直腸がん、大腸がん、潰瘍性大腸炎、 クローン病 ×腸閉塞

（3）下線②の軽度認知障害の状態を何と言うかアルファベットで答えなさい。（配点 1）

M C I

4.高血圧に関する次の記述について、（ ）内に適切な語句を語群から選び、答えなさい。（配点 1×5） 発達と老化の理解

- ① 日本高血圧学会のガイドラインにおいて、高血圧の基準は（ 最高血圧 140 mg/ 最低血圧 90 mg ）以上とされている。 ※片方のみ正解は×
- ② 加齢に伴い（ 収縮 ）期血圧が高くなる。
- ③ 原疾患が明らかな高血圧は（ 二次 ）性高血圧と呼ばれる。
- ④ 1 日の摂取塩分は（ 6～9 ）g 未満が目標である。
- ⑤ 75 歳以上の高齢者の男女ともに約（ 70 ）%が高血圧に該当する。

150 ・ 140 ・ 130 ・ 100 ・ 90 ・ 80 ・ 70 ・ 60 ・ 50 ・ 収縮 ・ 拡張 ・ 一次 ・ 二次 ・ 本態 ・ 6～9 ・ 10～13 ・ 14～17

5.次の文章に 1 つずつある誤りに線を引き、適切な内容に直しなさい。（配点 1×5） 発達と老化の理解

①高齢者の死亡の原因疾患は 90 歳以上は心疾患、65～89 歳は脳血管疾患である。 →悪性新生物（癌）

②アルツハイマー型認知症はゆるやかに進行し、男性に多い疾患である。 →女性



③ **グリーンケア**とは、医療において患者が医師等から診療内容と選択肢について十分な説明を受け選択する事である。 → **インフォームドコンセント**

④ 褥瘡における、側臥位での好発部位は、**仙骨部**である。 → **大転子部**（側臥位→仰臥位でも○）

⑤ 認知症の原因疾患を鑑別するときに、慢性硬膜下血腫の診断に有用な検査は**脳血流検査**である。 → **頭部 CT 検査、MRI**

6. 介護福祉士の行為について、以下の問いに答えなさい。（5） **医療的ケア**

（1）喀痰吸引を指示に従って実施したが、1 回の吸引で痰が取り切れなかった。再度吸引を行うときの対応として、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。
（配点 1×2）

- ① 吸引圧を高くする必要がある。
- ② 1 回の吸引時間は医師の指示に従う必要がある。
- ③ 太い吸引チューブに交換する必要がある。
- ④ 呼吸が落ち着いたことを確認する必要がある。
- ⑤ 痰がたまっていそうな部位にしばらく吸引チューブをとどめる必要がある。

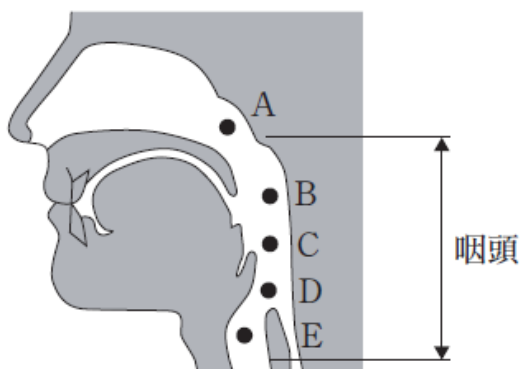
②	④
---	---

（2）緊急時における介護福祉士の対応として、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）

- ① 胸骨圧迫を行う際、胸骨の上半分を圧迫した。 → **下半分**
- ② 胸骨圧迫の速さは 1 分間に 100～120 回のテンポで行った。
- ③ 気道確保の際、仰臥位で、顎を引いた状態にした。 → **気道確保の際は顎先挙上法で行う。**
- ④ 顔を横に向けた状態で分泌物を取り出した。
- ⑤ 苦しいと思い胸骨圧迫の際に、柔らかいマットレスの上に寝かせた。 → **柔らかいマットレスでは体が沈み込み、適切な胸骨圧迫につながらない。**

②	④
---	---

（3）介護福祉士が鼻腔内の吸引を行うときに、吸引チューブを挿入できる範囲の限度として、正しいものを 1 つ選びアルファベットで答えなさい。（配点 1）



A

7. 認知症高齢者への対応について、以下の問いに答えなさい。（8） **認知症の理解**

（1）次の事例を読み、以下の問いに答えなさい。

【事例】

Dさん（80 歳、女性）は、アルツハイマー型認知症と診断され、訪問介護（ホームヘルプサービス）を利用して自宅で 1 人暮らしをしている。最近、物忘れが多くなってきており、訪問介護員（ホームヘルパー）に対して、「泥棒に通帳を盗まれた」と非常に興奮して訴えてくることが続いている。だが部屋はきれいな状態であり、人が侵入したような形跡はない。Dさんは几帳面な性格で、大切なものはタンスの中にしまっていることが多い。

1) 訪問介護員（ホームヘルパー）がとるべきDさんに対する最初の対応（行動や声かけ）として適切なものを答えなさい。（配点 2）

--

* 採点ポイント

「一緒に通帳を探す事を提案する」等、D さんの訴えを傾聴したり、受容するといった声かけや行動を示すことがポイント。

否定的、批判的な態度や言動や別の話題を提供する、といった答えは×。

2) 事例にあるように「通帳を盗られた」といった、記憶障害や思考力の低下に起因する認知症の周辺症状を何というか、答えなさい。（配点 1）

物盗られ妄想（被害妄想は△） ×妄想

--

（2）認知症状が現れる疾患名とその特徴を答えなさい。（配点 1+2）

例：アルツハイマー型認知症	70 歳以上の女性に多い。徐々に進行する。記憶に関する側頭葉の海馬・大脳辺縁系に明らかな病変が見られる。



レビー小体型認知症	パーキンソン症状として、体全体の動きが悪くなる、足がすくんだようになり最初の一步が踏み出しにくい、小刻み歩行、前傾姿勢、急に止まれず突進するように歩いたりする、転倒を繰り返す等がある。ほかに現実的で繰り返し起こる幻視体験や症状の日内変動がある。
脳血管型認知症	脳血管障害を原因として発症する。記憶障害、見当識障害、感情失禁等のほか、言語障害、知覚障害、片麻痺などの神経症状を伴う。60～70歳の男性に多い。病識がある為、うつ状態になる。
前頭側頭型認知症（ピック病）	前頭葉と側頭葉に限定して脳が萎縮していく。万引き等社会的ルールや常識的な規範が分からなくなり、人が変わったような人格変化が見られる。また、決まった食事しか摂らないなどの常同行動が見られる。
クロイツフェルト・ヤコブ病	発症は50～60歳代に多く、初発症状から6～10ヶ月で死に至る。原因はプリオンタンパクによる感染症と考えられている。症状として、認知障害・運動失調が見られる。治療法は見つかっていない。

採点ポイント キーワード1つで1点

（3）認知機能の評価に関する記述のうち、適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。（配点1×2）

- ① 長谷川式認知症スケールで認知症の診断が可能である。→長谷川式認知症スケールは見当識、記憶など9つの下位検査からなり認知症のスクリーニングに使用し、この検査のみでは診断できない。
- ② FAST (FUNCTIONAL ASSESSMENT STAGING) は、血管性認知症の重度判定に用いる。

③	④
---	---

→FASTは現在の状態や現在に至るまでの経過をもとにアルツハイマー型認知症の重症度の判定に用いる。
- ③ IADL (INSTRUMENTAL ACTIVITIES OF DAILY LIVING) のアセスメントは、軽度の認知症において有効である。
- ④ MMSE (MINIMENTAL STATE EXAMINATION) は見当識、記憶など11の下位検査からなり、認知機能を多面的に評価する。
- ⑤ 言語機能が障害されると、認知症の重症度評価はできなくなる。→言語機能が障害されても失行、失認、実行機能、精神症状、行動異常などから診断可能である。

8. 高齢者施設の対応について、以下の問いに答えなさい。（6）

- （1）「身体拘束ゼロの手引き」によると、「緊急やむを得ない場合」には身体拘束が認められていますが、その際①切迫性②非代替性③一時性の3要件を満たす必要があります。①～③のうち2つを選択しそれぞれの内容を説明しなさい。（配点2×2）

- ①切迫性：利用者本人または他の利用者の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高いこと。
- ②非代替性：身体拘束その他の行動制限を行う以外に代替する介護方法がないこと。
- ③一時性：身体拘束その他の行動制限が一時的なものであること。
- *具体的な内容で書かれていても意味があてれば○

- （2）介護福祉老人施設に入所している利用者への終末期介護として、適切なものを2つ選び、番号で答えなさい。（配点1×2）

- | | |
|---|---|
| ② | ③ |
|---|---|
- ①事前に意思確認した内容や事柄は口頭での確認でよい。→書面での確認が必要である。
- ②意識が混濁し、嚥下状態が悪い場合でも無理に水分補給をする必要はない。→意識が混濁している状態で飲み込みが悪い場合は、誤嚥の危険もあるので無理に水分補給をしなくても構わない。
- ③終末期は、自分で体位を変えることが困難なため、頻回に体位変換を行う。
- ④居室において利用者の介護内容等を、介護福祉職同士においては必要に応じ、口頭で共有する方がよい。→終末期にある利用者は、意識が薄れ言語が不明瞭になり傾眠、昏睡状態になっていく。しかし聴力は減退しても機能は最後まで残存しており、問題文のような不用意な言動や態度は介護福祉職として慎むべきである。
- ⑤食事は利用者の希望に添ったものではなく、高カロリーの食事を優先的に提供する方がよい。

9. 下記の説明文を読み、（ ）にあてはまる用語を答えなさい。（配点1×5） 複合問題

- ① 循環器は、心臓、血管、（リンパ（管））で構成されている。
- ② 老人性難聴は、（高音域）から聞こえにくくなり、症状は緩やかに進行する。 ○高音
- ③ （C）型肝炎は慢性化しやすく、肝臓癌を発症する事が多い。
- ④ 経管栄養の種類には（ ）がある。経鼻／胃ろう／腸ろう／食道ろう △インシュア、ラコール等内容物
- ⑤ 不眠の原因には（ ）がある。加齢／痛み／咳／頻尿／ストレス／緊張／うつ／アルコール／カフェイン／薬（降圧剤） *眠りすぎ×
×昼夜逆転 ○日光不足



10. 下記の説明文に当てはまる用語を下記の語群の中から選び、アルファベットで答えなさい。(配点 1×5)

① 医療・介護を提供する全ての場所で提供される標準的予防措置策の事。「汗を除く全ての血液、体液、分泌、損傷のある皮膚・粘膜は感染性病原体を含む可能性がある」という原則に基づいている。	C
② 要支援者を保護や救済の対象とみるのではなく、要支援者自らが、問題に気づき主体的に解決できるように、本人の力を引き出した高められるように支援することを言う。	H
③ 生活保護のように、国家が国民に最低限度の生活水準を保障することを言う。	Q
④ 介護を担う家族の心身の疲労を回復させるために、休養をとる事。	O
⑤ 社会的に弱い立場に置かれている人々の権利を擁護する活動であり、その主張や気持ちを代弁したり支持することで、政策や社会の意思決定、サービス利用等に何らかの影響力を行使すること。	M

A：インフォーマルサービス B：リハビリテーション C：スタンダードプリコーション D：アドボケート E：リビングウィル
F：ノーマライゼーション G：バリアフリー H：エンパワーメント I：グリーフケア J：ユニバーサルデザイン K：ラポール
L：ケアマネジメント M：アドボカシー N：インクルージョン O：レスパイトケア P：自立支援 Q：ナショナルミニマム

11. 介護保険サービスについて、以下の問いに答えなさい。(8)

(1) 通所介護（デイサービス）に関する説明文のうち、適切なものを2つ選びなさい。(配点 1×2)

①介護している家族に対するレスパイトケアとしての役割もある。

②通所介護は、施設サービスに含まれる。

③通所介護事業所では、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成する。

④理学療法や作業療法を行うことにより、心身機能の維持回復を図ることが基本方針である。

⑤サービス提供時に発生した事故については、速やかに市町村、利用者の家族、居宅介護支援事業者等に連絡し、必要な措置を講じる。

①	⑤
---	---

(2) 下記の介護保険サービスに関する説明文を読み、() にあてはまる用語を記入しなさい。(配点 1×5)

① 訪問介護（ホームヘルプサービス）は、身体介護と(生活援助)に分かれて単位設定がされている。 ×生活支援 ×生活介護

② 訪問看護は、病状が安定した方の居宅に訪問して、療養上の世話または必要な診療の補助を行う。(主治医 △医者)の指示書が必要である。○かかりつけ医

③ ショートステイは同じ月内、月またぎどちらの場合でも、連続して最大(30)日までの利用が可能である。

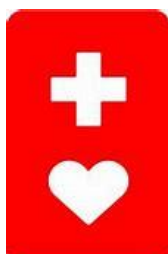
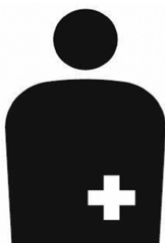
④ 手すりの取り付けや、その他厚生労働大臣が定める種類の住宅改修費の支給を行う。上限は1人(20)万円までと定められている。

② 特別養護老人ホームに入所できるのは特例の場合を除き原則、要(介護 3)以上の認定を受けたものである。

12. Aさん(75歳、男性)は5年前、脳梗塞を発症し右半身に麻痺があります。杖を使用すれば自力で歩行可能であるが見守りは必要です。Aさんの杖歩行について()にあてはまる語句を答えなさい。(配点 1×6)

・歩行の際、杖は(① 健側もしくは左)の手で持つ。
・介護者はAさんの(② 患側もしくは右)または(②)の斜め後ろに立ち、いつでも支えられるようにする。
・3点歩行(3動作歩行)では(③ 【 杖 】⇒【 患側もしくは右足 】⇒【 健側もしくは左足 】)の順で歩行する。
・階段を上る時は(④ 【 杖 】⇒【 健側もしくは左足 】⇒【 患側もしくは右足 】)の順で上がる。
・階段を下る時は(⑤ 【 杖 】⇒【 患側もしくは右足 】⇒【 健側もしくは左足 】)の順で下がる。
・杖の長さはAさんの(⑥ 大転子部)から床までの長さで調節する。 ×腰 ×大腿骨

13. 下記のマークの内容について正しいものを下記の語群から選び、記号で答えなさい。(配点 1×2)



①	D
---	---

②	C
---	---

A：肢体不自由である人が運転する自動車
B：障害者が利用できる建物、トイレ
C：義肢や義足などで援助や配慮を必要としている人
D：オストメイトであること、オストメイトのための設備があるトイレ
E：障害者の就労支援に取り組んでいる企業
F：障害者のための国際シンボルマーク